

湯浅町湯浅(和歌山県)

(1) 保存地区の概要

地区名 湯浅町湯浅

種別 醸造町

面積 6.3ヘクタール

選定年月日 平成18年12月19日

特徴 保存地区は、湯浅町の中央にある平野部にある16世紀末頃に開発された地域で、4本ある通りを主要街路とし、その間に複雑に入り組んだ小路が通る。醤油醸造など、商工業を中心に発展した町並みは、江戸時代の地割をよく残すとともに、重厚な本瓦葺大壁造の町家や、醸造に関わる土蔵などで構成されており、落ち着いた歴史的風致をよく伝えている。



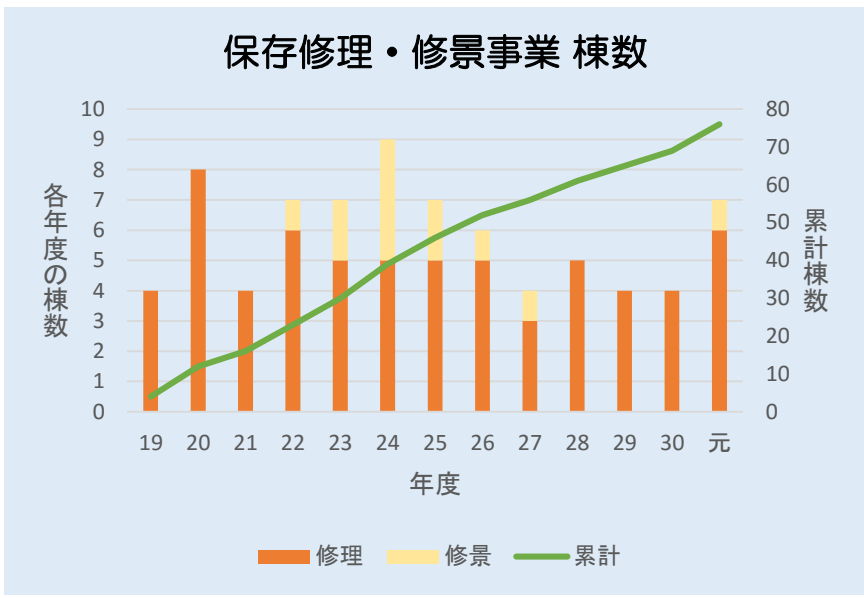
(2) 保存地区のあゆみ

平成11年度(1999) ～平成12年度(2000)	伝統的建造物群保存対策調査を実施
平成13年度(2001)	まちなみ保存事業補助金交付要綱を制定 住民説明会、講演会等を順次実施
平成14年度(2002)	『北町ふれあいギャラリー』開館
平成16年度(2004)	北町、北浜町、北中町、北鍛冶町地区に伝 建協議会を設立
平成17年度(2005)	湯浅町伝統的建造物群保存地区保存条例 を制定
平成18年度(2006)	湯浅町湯浅伝統的建造物群保存地区保存 計画を策定 12月「重要伝統的建造物群保存地区」 選定告示
平成19年度(2007)	湯浅伝建地区保存協議会が発足
平成21年度(2009)	銭湯跡歴史資料館『甚風呂』開館
平成22年度(2010)	湯浅伝建地区休憩所『岡正』開館
平成26年度(2014)	『湯浅まちなみ交流館』開館
平成27年度(2015)	湯浅町歴史的風致維持向上計画 認定
平成29年度(2017)	日本遺産「最初の一滴」醤油醸造の発祥の 地 紀州湯浅 認定 『千山庵』(宿泊体験等施設)オープン

湯浅町湯浅(和歌山県)

(3) 保存地区の保存と整備

- ◆ 保存修理事業の実績 (延べ数)
 - 平成19年度 ~ 令和元年度 **62件 (76棟)**
 - ※うち 修理 50件(64棟)、修景 12件(12棟)
- ◆ 公開活用施設の整備
 - 平成21年度 伝建地区休憩所 岡正
 - 平成25年度 湯浅まちなみ交流館
 - 平成28・29年度 宿泊体験等施設
 - 平成29年度 甚風呂旧借家棟
 - 平成30年度~ 旧栖原家住宅
- ◆ 説明板 (伝建事業)
 - 平成19年度 8ヶ所
- ◆ 耐震性防火水槽
 - 平成20年度 北の町老人憩の家 前
 - 平成30年度 北浜町



湯浅まちなみ交流館の整備



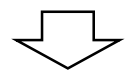
保存修理等による町並み景観の整備事例

湯浅町湯浅(和歌山県)

(4) 保存地区の活用とまちづくり

◆ 様々な施策の取組と観光客の増加

- 平成28年3月 湯浅町歴史的風致維持向上計画の作成
- 平成29年4月 日本遺産 認定
『最初の一滴』醤油醸造の発祥の地 紀州湯浅
※和歌山県下初の地域型ストーリー

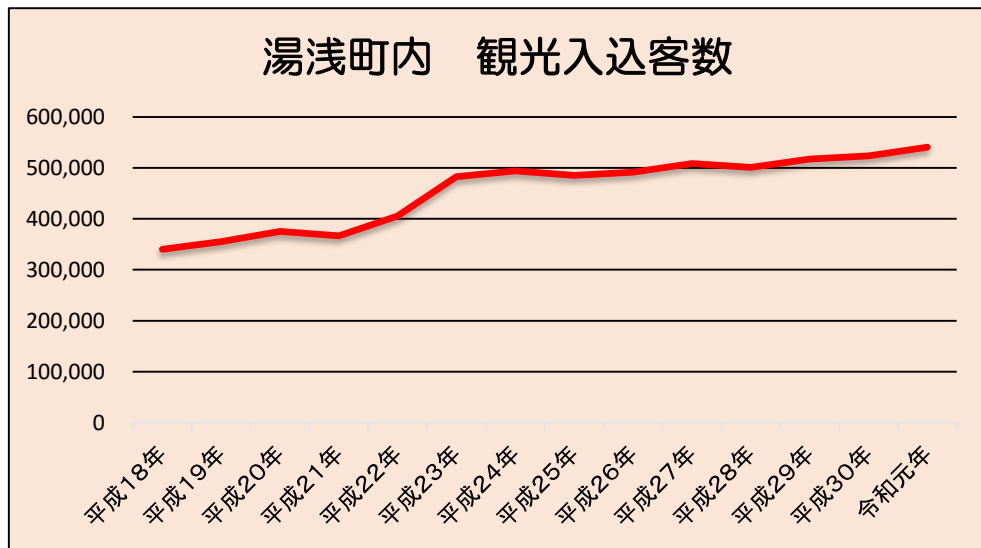


醤油の醸造町として選定されている伝建地区を中心に、国内外に向けた情報発信や受入機能強化のための様々な施策を展開していく。

◆ 宿泊体験等施設 『千山庵』



- 平成27年度 保存修理事業で外観修理
- 平成28年度 地方創生加速化交付金を活用して東棟の内装等工事を実施
- 平成29年度 文化財建造物等を活用した地域活性化事業により西棟の内装等工事を実施



湯浅町観光協会(現・一般社団法人 湯浅まちづくり推進機構)の会員から施設の活用方法等について事業提案を募集。その中で選定された事業者によって施設運営がされている。宿泊体験等を通じて、湯浅の町家の暮らしを感じ、湯浅の町の魅力を味わってもらおうとともに、観光客の滞在時間増加が期待される。

湯浅町湯浅(和歌山県)

(5) 住民等の取組

◆湯浅伝建地区保存協議会の活動◆



総会の様子



「まちなみ瓦版」の発行



『甚風呂』活用方法の検討



『甚風呂』での学習活動

◆住民主体のイベントの実施◆



ゆあさ行灯フェスティバル(行灯アート展)



ひなめぐり



コンサート

◆観光客のおもてなし◆



北浜町まちづくり委員会
による「湯浅まちなみ交
流館」でのおもてなし

◆自主防災組織による訓練活動◆



放水訓練



夜間避難訓練